

共有空間＝コモンズが切り拓く地域社会の新たな発展の可能性を探る。

小磯修二・草苺 健・関口麻奈美 著

コモンズ 地域の再生と創造

— 北からの共生の思想 —

北 海道苫東地域にある工業団地の中に広がる広大な緑地、森林を、市民が協力して手入れし、ハスカップ保全や薪の生産、フットパスなど里山空間を再生させている。本書では、

- 新たな地域発展の理念、思想としてのコモンズの可能性を考察
 - 苫東で実際に展開されているコモンズ概念によるオープンスペース管理について、その背景と現状を紹介、課題と展望をしめす
 - コモンズの理念が息づいている国内各地の地域づくり、まちづくりの事例を紹介
 - 英国のフットパス、フィンランドの万人権など世界のコモンズ的取り組みを紹介
- 地域づくりの新しい戦略としてのコモンズ論を展開する。

四六判上製・308頁・2600円(本体)

ISBN978-4-8329-6794-6



【著者紹介】

小磯修二(こいそ・しゅうじ)
北海道大学公共政策大学院 特任教授

草苺 健(くさかり・たけし)
(一財)北海道開発協会 開発調査総合研究所 所長代理

関口麻奈美(せきぐち・まなみ)
プランニング・メッシュ代表

【目次】

第1編 地域思想としてのコモンズ 試論

- 第1章 なぜコモンズか
— 新たな地域の発展パラダイムに向けて —
- 第2章 共生からコモンズへ
- 第3章 コモンズの胎動 — 実践、伝統からの学び —

第2編 コモンズの地域展開

- 第1章 苫東環境コモンズの誕生
- 第2章 苫東環境コモンズの展開の実際
- 第3章 苫東環境コモンズの現地からの発想
- 第4章 コモンズと風土に関する試論
— 結びに代えて —

第3編 地域づくりとコモンズの息吹

- 第1章 潜在資源を内外の力で表現
— コモンズで森林価値を高める
岡山県西粟倉村 —
- 第2章 多彩な地域資源を共有化し、生き残る地域づくり
— 北海道浜中町 —
- 第3章 現代に残る日本型コモンズ
— 長野県野沢温泉の
共有財産を守る仕組みから —

第4編 コモンズの旅

- 第1章 英国のコモンズとフットパスを訪ねて
— 「歩く権利」と「オープンスペース」を
獲得した庶民の歴史 —
- 第2章 フィンランド紀行
— 暮らしに根づく「万人権」の国を訪ねて —

第5編 座談会

新しい時代の「コモンズ」に向けて
— まとめに代えて —